



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月10日

東

上場会社名 ペットゴー株式会社

上場取引所

コード番号 7140

URL <https://corp.petgo.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒澤 弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 佐藤 建史

(MAIL) ir@petgo.co.jp

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	1,651	△16.3	△8	—	△12	—	△36	—
2026年3月期第1四半期	1,974	△12.9	△35	—	△38	—	△39	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △30百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △34百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△19.19	—
2026年3月期第1四半期	△21.32	—

(注) 2027年3月期第1四半期及び2026年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	3,309	1,008	29.5
2026年3月期	3,163	1,038	32.0

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 974百万円 2026年3月期 1,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	7,992	7.7	153	—	138	—	82	43.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	1,889,200株	2026年3月期	1,889,200株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	3,783株	2026年3月期	3,783株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	1,885,417株	2026年3月期1Q	1,874,917株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

・決算説明補足資料は、決算短信の発表と同日にTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結貸借対照表関係)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経済環境は、中東情勢による物価上昇の影響を受けつつも、個人消費は緩やかに増加しております。また、当社グループが取り扱うペットフードやペット用品は、犬猫の日常生活に必要な消費財であります。

当社グループが属するペット業界におきましては、犬の飼育頭数が減少傾向、猫の飼育頭数は微増傾向にあり、原材料価格の高騰や円安に伴う頻繁な価格改定も重なり、物量の大幅な拡大は見られておりません。しかし、ペットを家族や子供のように扱う「ペットヒューマニゼーション」の進展により、飼い主の意識はペットとの暮らし全般に関わる「ペットライフ市場」へと広がりをみせております。

ペットライフ市場のうち「モノ消費」におきましては、物価高騰による節約意識が高まる一方で、健康意識の高まりを背景に高付加価値のフードといったヘルスケア需要が高まっております。また「コト消費」におきましても、犬猫とともに豊かな体験を共有する「体験の家族化」が浸透しており、「ペットのおでかけ市場」が新たな成長領域として台頭するなど、今後もペットライフ市場は堅調に推移していくことが予想されます。

このような状況の中、当社グループは「ハッピーペットライフ・ハッピーワールド〜ペットライフを幸せに・世の中を幸せに」という当社のスローガンを実現すべく事業に取り組んでまいりました。

当社グループは、「モノ消費」領域でのDTCシフトによる利益構造の質的転換を継続しながら、M&A、アライアンスを通じて、高粗利・高LTVの「コト消費」領域へ事業領域を拡張し、ペットライフ・プラットフォームを構築していくことにより、持続的な成長と企業価値向上を目指してまいります。

当第1四半期連結累計期間については、戦略投資をコントロールしつつ、DTCブランドの動物病院チャネルへの進出等の施策を実施しました。その結果、**DTCブランド製品の売上高は584,501千円（前年同四半期比89.7%）**となり前年同四半期に対して減少しましたが、ブランド売上高合計に占める**DTCブランドの売上高比率は36.8%**まで拡大しております（前年同四半期は33.2%）。また、「犬のおでかけ経済圏」の構築を目的として、西武グループと資本業務提携契約を締結しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高1,651,746千円（前年同四半期比16.3%減）、営業損失8,422千円（前年同四半期は営業損失35,273千円）、経常損失12,717千円（前年同四半期は経常損失38,357千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失36,184千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失39,978千円）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

① ペットコマース事業

当第1四半期連結累計期間におけるペットコマース事業は、DTCブランドの動物病院チャネルへの進出等の施策を実施した結果、売上高は1,546,299千円、セグメント利益(営業利益)は55,944千円となりました。

また、ペットコマース事業における自社ECと他社EC等別の売上高は以下の通りとなります。

・ 自社ECと他社EC等別の売上高

(単位：千円)

販売経路別	第22期 第1四半期 連結累計期間	第23期 第1四半期 連結累計期間	増減
自社EC	638,218	484,622	△153,595
他社EC等	1,258,739	1,061,676	△197,062
合 計	1,896,958	1,546,299	△350,658

② ペットメディア事業

当第1四半期連結累計期間におけるペットメディア事業は、大型イベントを開催した結果、売上高は102,448千円、セグメント利益(営業利益)は36,437千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計額は、前連結会計年度末と比較して、145,747千円増加し、3,309,056千円となりました。これは主に、商品が282,495千円増加した一方で、売掛金が84,050千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計額は、前連結会計年度末と比較して、175,757千円増加し、2,300,149千円となりました。これは主に、短期借入金が174,994千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計額は、前連結会計年度末と比較して、30,009千円減少し、1,008,907千円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失36,184千円を計上した一方で、非支配株主持分が6,175千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、当社グループが合理的と判断する一定の条件に基づいた目標数値となっております。第2四半期以降も、「DTCシフト」による利益構造の質的転換を継続してまいります。

また、西武グループとの資本業務提携による2027年3月期の連結業績への影響につきましては軽微であります。両社の強みを活かしたシナジー創出により、翌連結会計年度以降の業績向上へ寄与する計画となります。その他、業績予想の前提とした状況に大きな変化はなく、2026年5月15日付け「2026年3月期決算短信」で発表しました連結業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	838,739	790,492
売掛金	478,065	394,015
商品	1,057,898	1,340,393
貯蔵品	2,807	2,776
未収入金	126,774	101,731
その他	97,190	133,131
流動資産合計	2,601,475	2,762,541
固定資産		
有形固定資産		
建物	78,853	80,723
車両運搬具	7,362	8,502
工具、器具及び備品	104,685	105,201
リース資産	3,428	3,428
減価償却累計額	△92,978	△97,445
有形固定資産合計	101,351	100,410
無形固定資産		
のれん	350,560	337,220
ソフトウェア	54	43
その他	262	253
無形固定資産合計	350,878	337,517
投資その他の資産		
繰延税金資産	32,594	31,278
その他	77,009	77,309
投資その他の資産合計	109,603	108,587
固定資産合計	561,833	546,515
資産合計	3,163,309	3,309,056

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	624,712	672,744
短期借入金	824,998	999,992
1年内返済予定の長期借入金	72,936	72,936
未払金	186,030	155,974
未払法人税等	30,772	18,395
賞与引当金	18,987	7,989
その他	78,368	73,465
流動負債合計	1,836,804	2,001,497
固定負債		
長期借入金	218,585	200,351
資産除去債務	52,845	53,059
繰延税金負債	16,157	45,242
固定負債合計	287,587	298,652
負債合計	2,124,392	2,300,149
純資産の部		
株主資本		
資本金	464,560	464,560
資本剰余金	426,862	426,862
利益剰余金	122,385	86,200
自己株式	△3,074	△3,074
株主資本合計	1,010,734	974,549
非支配株主持分	28,182	34,357
純資産合計	1,038,916	1,008,907
負債純資産合計	3,163,309	3,309,056

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,974,313	1,651,746
売上原価	1,384,694	1,112,907
売上総利益	589,618	538,839
販売費及び一般管理費	624,891	547,262
営業損失(△)	△35,273	△8,422
営業外収益		
受取利息	50	85
受取補償金	273	968
受取賃貸料	5,924	—
その他	375	17
営業外収益合計	6,622	1,071
営業外費用		
支払利息	3,953	5,259
支払賃料	5,717	—
その他	36	105
営業外費用合計	9,706	5,365
経常損失(△)	△38,357	△12,717
税金等調整前四半期純損失(△)	△38,357	△12,717
法人税、住民税及び事業税	14,401	15,976
法人税等調整額	△17,952	1,315
法人税等合計	△3,551	17,292
四半期純損失(△)	△34,805	△30,009
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,172	6,175
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△39,978	△36,184

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△34,805	△30,009
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	△34,805	△30,009
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△39,978	△36,184
非支配株主に係る四半期包括利益	5,172	6,175

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

当社は運転資金の効率的な調達を行うため、取引金融機関4行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当第1四半期連結会計期間末の借入未実行残高は次の通りであります。

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
当座貸越極度額の総額	2,000,000千円	2,000,000千円
借入実行残高	824,998 〃	999,992 〃
差 引	1,175,002千円	1,000,008千円

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)及びのれんの償却額は、次の通りであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,720千円	4,488千円
のれん償却額	10,689 〃	13,340 〃

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書 (注)2
	ペットコマー ス事業	ペットメディ ア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,896,958	77,354	1,974,313	—	—	1,974,313
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,896,958	77,354	1,974,313	—	—	1,974,313
セグメント利益又は損 失(△)	29,105	27,839	56,944	—	△92,218	△35,273

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△92,218千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間に、株式会社FLAFFYの株式を取得し連結子会社としており、新たに「ペットメディア事業」と記載しております。また、ペットゴー株式会社及びペットゴープロダクツ株式会社のペットヘルスケア事業につきましては、「ペットコマース事業」と記載しております。

3. 報告セグメントごとののれんに関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ペットメディア事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間に、株式会社FLAFFYの株式を取得し連結子会社としたことにより、第1四半期連結会計期間末でのれん331,381千円を計上しております。

なお、のれんの金額は、取得原価の配分が完了しておらず、暫定的に算定された金額であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書 (注)3
	ペットコマー ス事業	ペットメディ ア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,546,299	102,448	1,648,747	2,999	—	1,651,746
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,546,299	102,448	1,648,747	2,999	—	1,651,746
セグメント利益又は損 失(△)	55,944	36,437	92,382	△4,843	△95,962	△8,422

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社の事業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失の調整額△95,962千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(株式会社ブルーインキュベーションとの資本業務提携契約の締結、第三者割当による新株式の発行及び第三者割当による第18回新株予約権の発行)

当社は、2026年6月29日開催の取締役会において、株式会社西武ホールディングス（以下「西武ホールディングス」といいます。）の子会社である株式会社ブルーインキュベーション（以下「ブルーインキュベーション」といいます。）との間で資本業務提携契約（以下「本資本業務提携契約」といいます。）を締結することを決議し、同日付で本資本業務提携契約を締結しました。

また、ブルーインキュベーションを割当先として第三者割当により新株式（以下「本新株式」といいます。）及び第18回新株予約権（以下「本新株予約権」といいます。）を発行すること（以下、本新株式の発行及び本新株予約権の発行を総称して「本第三者割当」といいます。）を決議し、2026年7月15日に払込が完了しました。

1. 業務提携の内容

当社及び西武ホールディングスは、今後拡大が見込まれるペットのおでかけ市場において新たな価値の創造を目的として、両グループが保有するリアルアセット及びデジタルアセットを活用した新たなサービスの共同検討及び展開を行ってまいります。現時点で想定している主な内容は以下の通りです。

- ① 当社によるペットのおでかけを対象とするアプリの開発及び運営、並びに西武ホールディングスによる開発協力
- ② 西武グループが運営する鉄道、商業施設、ホテル、レジャー施設その他のリアルアセットを活用した、ペットのおでかけを対象とする新サービスの企画・開発
- ③ 当社のペットコマース事業における会員基盤、オウンドメディア、SNSメディア等を活用した、西武グループの宿泊施設・商業施設その他の施設及び前号の新サービスへの送客並びに利用者拡大施策の実施
- ④ 西武グループの顧客基盤等を活用した当社の通販サービスへの送客支援、並びに前号の施策等を通じた当社のペットコマース事業への新規顧客流入創出及びクロスセルの推進
- ⑤ 西武グループが運営する施設及び沿線でのイベント・体験コンテンツの共同企画及び展開
- ⑥ 西武グループが推進するペット関連施策に対する、当社のデジタルマーケティング機能、ペット専門知見及び顧客基盤の活用
- ⑦ 両当事者が保有するデータの相互活用を通じた新サービスの企画・開発
- ⑧ ブルーインキュベーションの既存投資先・パートナーとの協業推進をはじめとする、両当事者の企業価値向上に資する新規事業及び周辺事業領域における継続的な協業の検討
- ⑨ その他、ブルーインキュベーション及び当社が書面にて合意した事項

2. 第三者割当による新株式の発行

(1)	払込期日	2026年7月15日
(2)	発行新株式数	普通株式 332,300株
(3)	発行価額	1株につき742円
(4)	発行価額の総額	246,566,600円
(5)	増加する資本金及び資本準備金の額	資本金 123,283,300円（1株につき371円） 資本準備金 123,283,300円（1株につき371円）
(6)	募集又は割当方法（割当先）	第三者割当の方法により、以下の通り割り当てております。 株式会社ブルーインキュベーション 332,300株
(7)	その他	当社は、割当先との間で、本新株式に係る総数引受契約を締結しております。

3. 第三者割当による第18回新株予約権の発行

(1)	割当日	2026年7月15日
(2)	新株予約権数	1,385個
(3)	発行価額	1個につき1,282円（本新株予約権の発行価額の総額：1,775,570円）
(4)	当該発行による潜在株式数	138,500株（本新株予約権1個当たり100株）

(5)	資金調達額 (差引手取概算額)	104,542,570円(差引手取概算額:94,542,570円) (内訳) 新株予約権発行による調達額:1,775,570円 新株予約権行使による調達額:102,767,000円 差引手取概算額は、本新株予約権の発行価額の総額に本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額の合計額を合算した金額から、本新株予約権に係る発行諸費用の概算額を差し引いた金額です。本新株予約権の行使価額が調整された場合には、資金調達の額は増加又は減少し、本新株予約権の行使期間内に行使が行われない場合及び当社が取得した本新株予約権を消却した場合には、資金調達の額は減少します。
(6)	行使価額	行使価額は、742円(2026年6月26日の東京証券取引所における当社普通株式の終値の90%相当額)といたします。 上限行使価額及び下限行使価額はありません。
(7)	募集又は割当方法 (割当予定先)	第三者割当の方法により、ブルーインキュベーションに全ての本新株予約権を割り当てます。
(8)	本新株予約権の行使期間	2026年7月16日から2031年7月15日まで。
(9)	その他	当社は、割当予定先との間で、本新株予約権に係る総数引受契約を締結しております。 また、本資本業務提携契約においては、以下の内容等が定められます。 ・割当予定先は、当社に対し、30日以上前の書面による通知を行うことにより、割当予定先が保有する本新株予約権の全部又は一部を、本新株予約権1個当たりの払込金額と同額にて当社に取得するよう請求することができる ・割当予定先は、特定の事象が発生した場合を除き、当社の事前の書面による承諾がない限り、本第三者割当増資の実行日から1年を経過するまで本新株予約権を行使できない ・割当予定先は、本資本業務提携契約の存続期間中、当社の事前の書面による承諾がない限り、本新株予約権の全部又は一部について、当社の事業と競合する事業を運営している第三者に譲渡できない

4. 本第三者割当に係る手取金の使途

具体的な使途	金額	支出予定時期
ペットのおでかけサービスに関する広告費	178,342～236,109千円	2026年10月～2029年9月
ペットのおでかけサービスの運用費	50,000～70,000千円	2026年10月～2029年9月
ペットのおでかけサービスの開発費	20,000～35,000千円	2026年7月～2027年6月
合計	248,342～341,109千円	—

ペットのおでかけという新規領域での取り組みとなり、割当先と協議の上、具体的な使途に記載の項目間での流用については一定の範囲内で可能となっているため、金額についてはレンジでの記載としております。

上記の金額は、本第三者割当に係る手取金の使途となりますが、本新株式のみに係る手取金の使途については、246,566千円を予定しております。その内訳は、ペットのおでかけサービスに関する広告費176,566千円、ペットのおでかけサービスの運用費50,000千円、ペットのおでかけサービスの開発費20,000千円となります。